

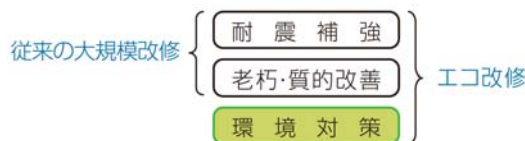
平成 22 年 11 月 18 日

校舎のエコ改修の推進のために ～ モデルプランにおける環境対策のシミュレーション結果（全国版）～

国立教育政策研究所文教施設研究センターにおいて、校舎のエコ改修に関する調査研究を実施し、報告書を取りまとめましたので、公表いたします。

1. 趣旨・概要

- ・近年、地球温暖化対策の一環として、学校施設における環境対策が求められており、特に学校施設の大半を占める既存校舎のエコ改修対策が課題となっています。
- ・このため、当センターでは、「学校施設の環境に関する基礎的調査研究」（主査：小峯裕己 千葉工業大学教授）を実施し、既存校舎の「エコ改修」に関する改修内容、改修効果、イニシャルコストなどを評価・検討した上で、各地域に対するモデルプランを作成しました。
- ・このモデルプランは、建築後 30～40 年程度経過した老朽校舎を想定し、従来から行われている耐震補強や老朽改善に、新たに環境対策を加えた「エコ改修」を実施するという前提で作成したものです。



2. 報告書の骨子

- ・モデルプランにおける CO₂ 排出量シミュレーションの結果、以下の三つを総合的に実施することで、冷房化を含む教室の暑さ寒さ対策と CO₂ 排出量の削減を同時に達成することが十分に可能であることがわかりました。
 - ①断熱化や日射遮へいなど建物性能の向上
 - ②照明機器や冷房機器の高効率化
 - ③温度設定など適切な運転管理の励行
- ・例えば、最も学校数の多い温暖地域（IV地域^{*}）では、改修前に比べ、以下の結果となりました。

※省エネルギー基準による地域区分を示します。

 - ・CO₂ 排出量の削減見込み：32～33%
 - ・光熱費の削減見込み：19～20%
 - ・エコ改修工事費：12.0～12.3 万円/m²
 - ・環境対策に伴う単価増：3.3～3.6 万円/m²

3. 今後の予定

- ・本報告書は、学校設置者等が今後のエコ改修計画を検討する際の参考資料として、近日中に全国の都道府県及び市区町村教育委員会に配布する予定です。
- ・当センターホームページに全文を掲載しています。
(アドレス：<http://www.nier.go.jp/shisetsu/pdf/allmodelplan.pdf>)

(お問合せ)

国立教育政策研究所文教施設研究センター

センター長：新保幸一、総括研究官：小林正浩、専門調査員：藤井淳志

電話：03-6733-6992

〔広報担当〕総務部庶務課庶務係長 宮本二郎

電話：03-6733-6911（直通）